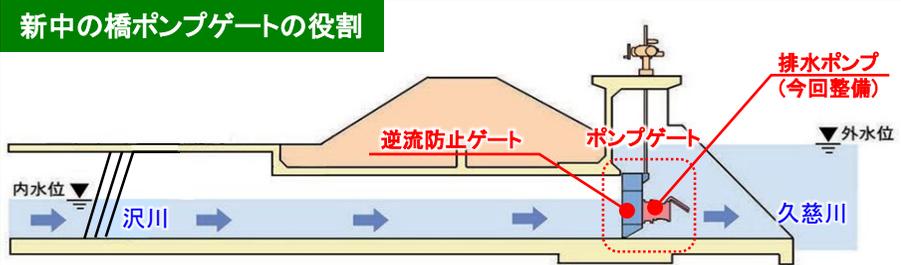


令和6年台風第5号の大雨における治水対策の効果(岩手県久慈川水系沢川)

- 岩手県久慈市の^{さわがわ}沢川では、令和元年10月の台風19号により、新中の橋地区において、床上45戸、床下39戸の大規模な浸水被害が発生。
- 浸水被害を踏まえ、防災・安全交付金事業（5カ年加速化対策予算を含む）を活用し、久慈川合流部に設置されている排水樋門をポンプゲート（逆流防止ゲートに排水ポンプが設置されたもの）に改築し、令和6年6月から運用開始。
- 令和6年台風第5号では、ポンプゲートが稼働したことにより、浸水被害は発生しなかった。



久慈川の増水時には、久慈川から沢川への逆流を防ぐために逆流防止ゲートを閉じるため、沢川の水を久慈川へ排水することができなくなり沢川で浸水被害が発生していたが、排水ポンプの整備により、ゲートを閉じた状態でも沢川の水を強制的に久慈川へ排水できるようになり、浸水被害を防ぐことができるもの。

